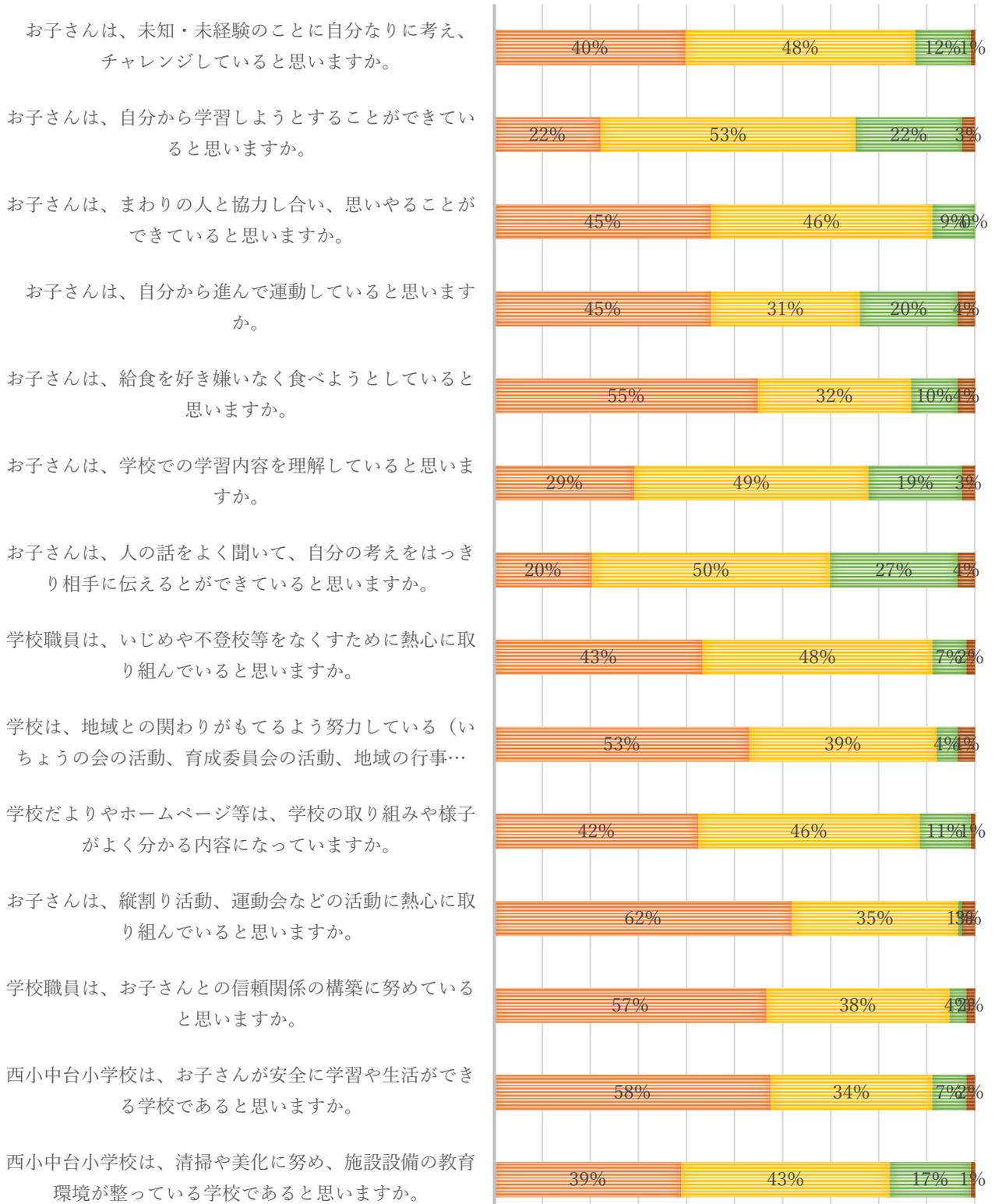


令和7年度保護者アンケート（後期学校教育評価）結果

■ そう思う
 ■ どちらかと言えばそう思う
 ■ どちらかと言えばそう思わない
 ■ 全く思わない



調査日：令和8年1月9日（金）～1月16日（金）

回答数および回答率：113人/174人（64.9%）

肯定的回答（そう思う、どちらかといえばそう思う）の割合が前期と比較して上昇した項目

「未知・未経験のことに自分なりに考え、チャレンジしている」(+8pt)

「自分からから学習しようとしている」(+1 pt)

「人の話をよく聞き、自分の考えを相手に伝えている」(+1 pt)

「縦割り活動や行事などの活動に熱心に取り組んでいる」(+2 pt)

「学校職員は児童との信頼関係の構築に努めている」(+2 pt)

下降した項目

「まわりの人と協力し合い、思いやること」(-1 pt)

「学校での学習内容を理解している」(-6 pt)

「学校職員はいじめや不登校をなくすために熱心に取り組んでいる」(-5 pt)

「学校は地域とのかかわりがもてるよう努力している」(-2 pt)

「学校だよりやHPが、取組や様子がよく分かる内容になっている」(-2 pt)

「清掃や美化に努め、施設設備の教育環境が整っている」(-4 pt)

前期学校教育評価と比較し、14項目中5項目で肯定的回答がポイント上昇、6項目で下降となりました（太字下線のものが5 pt 以上変動した項目、3項目は変化なし）。前期と比較すると上昇した項目数より下降した項目数の方が多くなりましたが、下がった項目や変化がなかった項目においても内訳をみると「そう思う」の割合は増えています。

肯定的回答が最も上昇した項目は、「未知・未経験のことに自分なりに考え、チャレンジしている」(+8 pt) となりました。西小中台小学校では、主に国語の学習を中心として自分の考えをもち、伝え合う力の育成を目指しています。子供たちの主体的に考えようとする意欲を保護者の皆様にも感じ取っていただけたことは、私たち学校職員にとって大変励みになります。今後も子供たちが自分なりに考え、挑戦することのできる教育環境の整備に努めてまいります。

「縦割り活動や行事などの活動に熱心に取り組んでいる」(+2 pt) や「学校職員は児童との信頼関係の構築に努めている」(+2 pt) の項目も数値が上昇しました。子供たちとともに毎日を過ごす私達学校職員にとって、学習や行事などを通して信頼関係の構築がなされているとの評価は大変嬉しくやりがいを感じられるものです。今後も子供たち一人一人との関係性を大切にしていきたいと思えます。

肯定的回答の下降が大きかった項目としては、「学校職員はいじめや不登校をなくすために熱心に取り組んでいる」(-5 pt) と「清掃や美化に努め、施設設備の教育環境が整っている」(-4 pt) があげられます。いじめ・不登校対策については、肯定的回答が90%を超えているものの-5 pt という事実を受け止め、子供たちが安心して学校に通い、保護者の皆様にも西小中台小学校で学べてよかったと思っていただけるよう、教育相談の体制について検討・改善してまいりたいと思えます。また、学校施設の老朽化に伴う、特に空き教室や廊下等の環境についてご意見をいただきました。引き続き教育委員会に改善の要望を出すとともに、技能員を中心にできる箇所から修繕と環境整備に取り組んでいきたいと思えます。

後期のアンケートでもたくさんの貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

保護者の皆様からいただいたご意見は全教職員で共通理解し、子供たちのよりよい成長のために活かしてまいります。ご協力ありがとうございました。